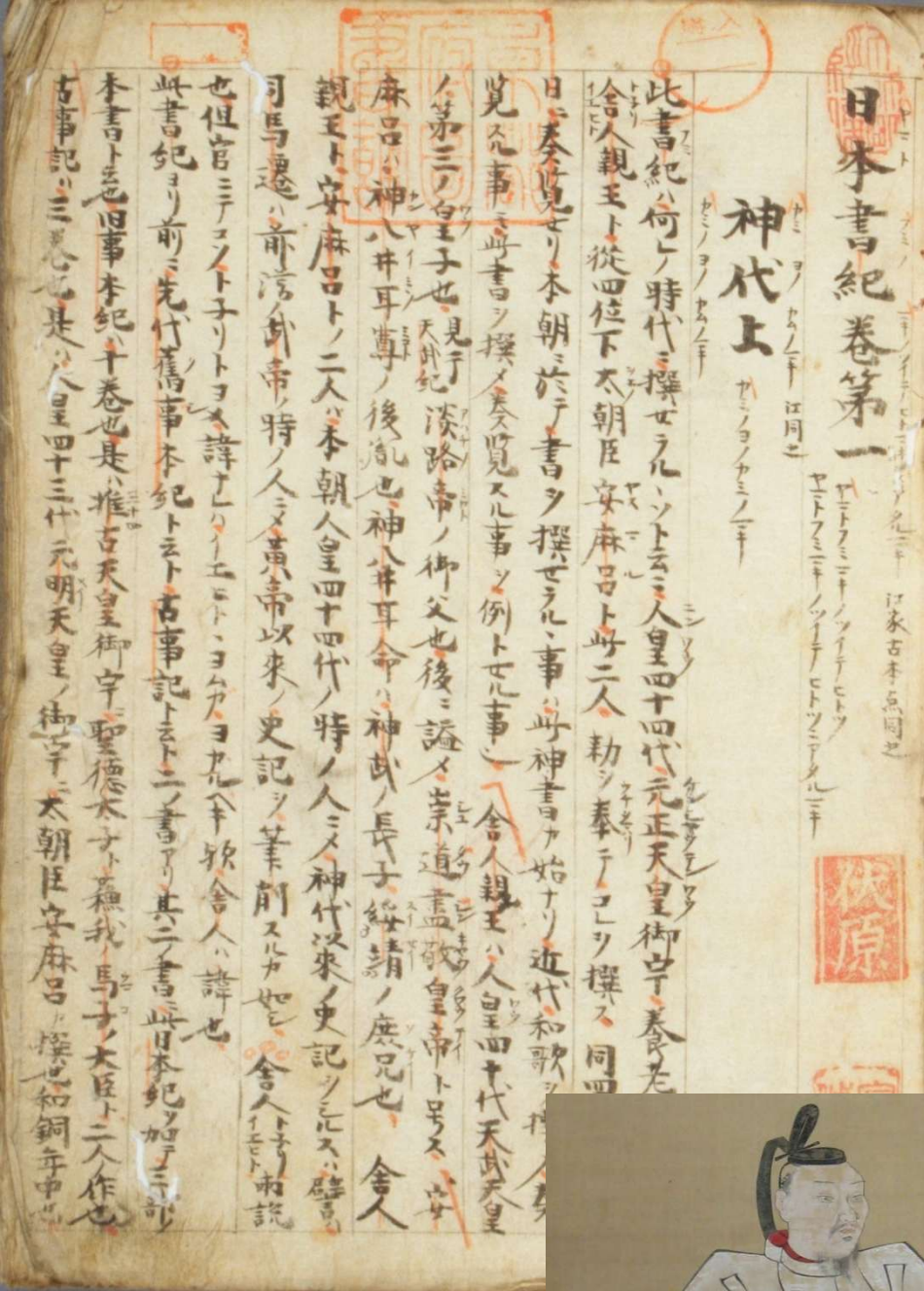


海外若手研究員による府民向けセミナー

海外における日本研究の新地平

吉田兼俱と『日本書紀』

学問と私利が織りなす講釈



(上)『日本書紀神代卷抄』上
(京都府立京都学・歴彩館歴史資料アーカイブより)
(右)吉田兼俱(1435-1511)
「從二位兼俱卿御影写」(部分)(國學院大學図書館所蔵)



京都学・歴彩館 京都学研究員
マリナ・パンドルフィノ
(Marina PANDOLFINO)

2026 **10/6** [火] 13:30-14:30
(開場13:00)

京都府立京都学・歴彩館 小ホール

当日先着順 (事前申込不要) 定員70名 無料

[主催] 京都府立京都学・歴彩館 [共催] 京都府立大学
[問合せ先] 京都学・歴彩館 京都学推進課 075-723-4835

研究テーマ

室町時代後期の上流階級における唯一神道の受容

応仁の乱後、神祇官の次官であった吉田兼俱は幅広く活躍した。『日本書紀』や「中臣祓」に関して講釈を行い、唯一神道という新しい神道流派を創立し、様々な経典を執筆した。その活動を通じて、兼俱は唯一神道の教理を京都の公家社会に普及させた。今回の研究では、兼俱と接触した貴族や室町幕府の中枢が残した古文書等の分析を通じて、京都の公家社会における唯一神道の受容について共時的に検討する。

略 歴

フランス国立東洋言語文化大学日本学部・国際関係学部、大阪大学日本語日本文化教育センター、フランス国立東洋言語文化大学国際関係学研究科アジア国際関係専攻修士課程及び同大学日本学研究科日本学専攻修士課程修了、慶應義塾大学文学研究科研究生を経て、現在、フランス国立高等研究実習院宗教学研究科日本宗教専攻博士課程在籍中

アクセス



●ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

- ▶ JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄 烏丸線「北山駅」下車 (①出口)
南へ徒歩約4分
- ▶ 京阪出町柳駅から
京都市バス1
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分
- ▶ JR二条駅から
京都市バス206
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分